

49 CFRパート383とは何ですか？

アメリカ合衆国運輸省(USDOT)の連邦自動車運輸安全局では、その規定により、商用自動車を運行している(または運行する見込みのある)者に対する最低限の資格基準を定め、州が交付する商用車用運転免許証の書類要件を制定しています。49 CFRは米国運輸省連邦規則集タイトル49:地上輸送、パート383.71を指し、これは、すべての商用車用運転免許証(CDL)保有者に対し、関与する商用自動車の種別に関する情報を車両管理局(DMV)に提供することを義務付ける規定が含まれている法令のセクションの1つです。CDL保有者は、運行する(または運行を見込んでいます)商用の種類を決定し、次の4つの運転タイプのいずれかで商用自動車を運行している(または運行を見込んでいます)旨をDMVに証明する必要があります。

- 非例外的州際通商(NI)
- 例外的州際通商(EI)
- 非例外的州内通商(NA)
- 例外的州内通商(EA)

これはニューヨーク州のCDL保有者にどのように影響しますか？

CDLまたは商用車用仮免許を新たに交付、修正、または更新する場合、その前に1つの運転タイプについて認証を受ける必要があります。NIまたはNAの運転タイプの認証を受ける場合は、健康診断の受診が義務付けられています。連邦政府は、商用自動車を安全に運行する能力に影響を与える可能性のある身体的または精神的状態を検出するため、健康診断の受診を義務化しています。健康診断の受診義務については、49 CFRパート391.41と391.43 (www.ecfr.gov)をご覧ください。

健康診断に合格するには、USDOT健診医による診断を受け証明書を取得していただく必要があります。 NIまたはNAの運転タイプの認証を受ける際、またはまだ記録がない場合は現在の有効なUSDOT健診医による証明書のコピーをNYS DMVに提供していただく必要があります。DMVに記録されている健康診断証明書の情報を最新かつ有効な状態に保つため、必要に応じて最新のコピーを継続してDMVに提出していただく必要があります。健康状態の証明が必要なCDL保有者が、USDOT健診医による有効かつ最新の証明書を、証明書の有効期限が満了する前にDMVに提出しなかった場合、その証明書は効力を失い、商用車用運転免許の資格を失う可能性があります。

運転タイプの認証を受ける前に商用自動車(CMV)をどのように運行するか(または運行する見込みであるか)を知ることが重要です。 運転タイプを決定する際は、以下の手順が役立ちます：
まず最初に、次のうちどのカテゴリでCMVの運行を実施するか(または実施する見込みであるか)を決めましょう。
州際または**州内通商**。

州際通商でCMVを運転する場合：

- ある州から別の州または外国への輸送。
- ニューヨーク州内の2地点間の輸送ではあるが、輸送の一部でCMVが別の州または外国に入る。または
- ニューヨーク州内の2地点間の輸送ではあるが、貨物の出発地または終着地が別の州または外国である場合。

州内通商とは、ニューヨーク州内でのみCMVを運行する場合であって、州際通商に関する上記の説明のいずれにも合致しない場合を指します。

CMVの運行(または運行の見込み)を**州際通商**または**州内通商**のいずれにするか決定したら、運転タイプを4つの中から選択します。このフォームの2ページ目にある情報は、運転タイプの決定に役立ちます。

注意事項：運転タイプのいずれの資格要件も満たしていない場合は、商用自動車の運行は許可されず、車両管理局で免許を非商業用の免許証クラスに変更していただく必要があります。

州際

注意事項：仮に、**非例外的州際通商(NI)**および**例外的州際通商(EI)**の両方の運行・運転を実施している(または実施することが見込まれる)場合、両タイプの州際通商での資格を得るには、**非例外的州際通商(NI)**の運転タイプの認証を受けていただく必要があります。

**以下に該当する場合は、
非例外的州際通商(NI)をご選択ください：**

21歳以上で、商用自動車を州際で運行している(または運行が見込まれる)(例外的運転*を除く)。

NIの認証を受ける場合：

- 制限事項「K」または「A3」(健康診断の免除)が付帯しないCDLが交付されます。(州内のCDLのみ)

NIの認証を受けるドライバーは、健康診断の受診義務が適用され、現在記録にない場合は、USDOTの健診医による最新の証明書をDMVに提出していただく必要があります。商用車の州境をまたぐ運行が許可されています。

危険物(承認事項「H」)および危険物/タンク(承認事項「X」)を扱うドライバーは、NIまたはNAの運転タイプを選択する必要があります。危険物ドライバー免許の要件の詳細については、危険物マニュアル(CDL-11)を参照してください。

**以下に該当する場合のみ、
例外的州際通商(EI)をご選択ください：**

18歳以上で、商用自動車を州際で例外的な運転*に限って運行している(または運行が見込まれる)。

EIの認証を受ける場合：

- 制限事項「A3」(健診医による証明書は不要)が付帯したCDLが交付され、商用車の運行は例外的な運転*に限定されます。*

EIの認証を受けたドライバーは、健康診断の受診義務が免除され、USDOT健診医による証明書をDMVに提出していただく必要はありません。例外的な運転*に限り、商用自動車の州境をまたいだ運行が許可されます。

注意事項：1999年9月9日以前にNYSのCDLを取得したドライバーで、その他の例外的な運転を実施していないか、実施すると見込みがない場合は、EIの認証は受けられません。例外的な運転をする場合は、EAの認証を受ける必要があります。

州内

**以下に該当する場合は、
非例外的州内通商(NA)のみ選択してください：**

18歳以上で、ニューヨーク州内のみで商用自動車を運行する(または運行が見込まれる)(例外的な運転*を除く)。

NAの認証を受ける場合は：

- 制限事項「K」付きのCDLが交付されます(CDL州内のみ)。これにより、商用自動車の運転はニューヨーク州のみに限定されます。

NAの認定を受けたドライバーは、健康診断を受ける必要があります。まだ記録がない場合は、USDOTの健診医による最新の証明書をDMVに提出していただく必要があります。商用車の州境をまたぐ運行は許可されていません。

危険物(承認事項「H」)および危険物/タンク(承認事項「X」)を扱うドライバーは、NIまたはNAの運転タイプを選択する必要があります。危険物ドライバー免許の要件の詳細については、危険物マニュアル(CDL-11)を参照してください。

**以下に該当する場合は、
例外的州内通商(EA)を選択してください：**

18歳以上で、ニューヨーク州でのみ例外的な運転*に限って商用自動車を運行する(または運行が見込まれる)。

EAの認証を受ける場合：

- 制限事項「A3」および「K」が付帯した(健診医による証明書は不要、州内のCDLのみ)CDLが交付され、商用車の運行は例外的な運転*およびニューヨーク州内のみ限定されます。

EAの認証を受けたドライバーは、健康診断の受診義務が免除され、USDOT健診医による証明書はDMVに提出していただく必要はありません。商用車の州境をまたぐ運行は許可されていません。

***例外的な運転**-連邦自動車運送業者安全規則49 CFR 390.3(f) & 391.2およびニューヨーク州自動車運送業者安全規則NYCRRパート820に定義されている連邦または州の例外的な運転。例外的な運転には次のものが含まれますが、これらに限定されません。児童の自宅から学校への送迎、および学校から自宅への送迎(学校運営)。連邦政府、州政府、または地方自治体の職員(自治体運営)、および1999年9月9日以前にニューヨーク州の商用車用運転免許証を取得し、ニューヨーク州内でのみ商用車の運転を行うドライバー(EAの認証を受ける必要あり)。連邦および州の例外的なアクティビティの全リストについては、以下をご覧ください。www.FMCSA.dot.gov (連邦)、www.dot.ny.gov (州)